

機関番号	研究種目番号	応募区分番号	小区分	整理番号
00000	00	0	00000	0000

令和3(2021)年度 基盤研究（C）（一般）研究計画調書

令和XX年XX月XX日
1版

新規

研究種目	基盤研究(C)	応募区分	一般		
小区分	区分に困ったらKAKENデータベースを活用！				
研究代表者 氏名	(フリガナ)				
	(漢字等)				
所属研究機関					
部 局					
職					
研究課題名	研究計画を的確に表す課題名ですか？インパクトありますか？				
研究経費 〔千円未満の 端数は切り 捨てる〕	年度	研究経費 (千円)	使用内訳(十円)		
			設備備品費 消耗品費 旅費 人件費・謝金 その他		
	令和3年度		備品と消耗品の修正が最も多いです！！		
	令和4年度				
	令和5年度				
	令和6年度				
	令和7年度				
	総計				
開示希望の有無	審査結果の開示を希望する	不採択の際の参考となるため希望してください。			
研究計画最終年度前年度応募	--				

研究経費は各種目の上限までの計画をお勧めします。
採択されても3～5割！！経費が削減されてしまいます。

KAKENデータベース：採択課題の情報収集に活用できます。
<https://kaken.nii.ac.jp/ja/>

研究組織（研究代表者及び研究分担者）

氏名（年齢）		所属研究機関 部局 職	学位 役割分担	令和3年度 研究経費 （千円）	エフオ ート （％）
研究代表者	00000000（00）				
	00000000（00）				
	00000000（00）				
研究分担者					
研究分担者					
合計 00 名			研究経費合計		

1 研究目的、研究方法など

本研究計画調書は「小区分」の審査区分で審査されます。記述に当たっては、「科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規程」（公募要領 111 頁参照）を参考にすること。

本欄には、本研究の目的と方法などについて、3 頁以内で記述すること。

冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述し、本文には、(1) 本研究の学術的背景、研究課題の核心をなす学術的「問い」、(2) 本研究の目的および学術的独自性と創造性、(3) 本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか、について具体的かつ明確に記述すること。

本研究を研究分担者とともに行う場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割を記述すること。

（概要）

【研究支援センターチェックポイント】

➤ 研究の目的と方法について簡潔に10行程度になっていますか？

【研究支援センターが実際に指摘・確認した内容】

➤ 概要と本文の間に空白が目立つが問題ないですか？

➤ 学術的背景のみが記載されており、研究の概要になっていないように思います。

➤ 文字サイズが大きい（または小さい）が問題ないですか？

（本文）

※留意事項：

1. 作成に当たっては、研究計画調書作成・記入要領を必ず確認すること。
2. 本文全体は 11 ポイント以上の大きさの文字等を使用すること。
3. 各頁の上部のタイトルと指示書きは動かさないこと。
4. 指示書きで定められた頁数は超えないこと。なお、空白の頁が生じていても削除しないこと。
5. 本留意事項（斜体の文章）は、研究計画調書の作成時には削除すること。

【研究支援センターチェックポイント】

➤ 小見出しや箇条書き、余白等を使って読みやすく工夫していますか？

➤ これまでの自身の研究や論文をアピールし、文献を引用していますか？

➤ 予備的なデータを示していますか？

➤ 図はオリジナルで白黒印刷しても分かりやすいですか？

➤ 年度ごとの研究計画を記載していますか？

➤ 計画と予算が関連付けていますか？（例：初年度***のため***を購入する。）

➤ 計画通りに進まない時の対応を書いていますか？（コロナ対策、海外出張など）

➤ 代表者・分担者の役割を明記していますか？

【1 研究目的、研究方法など（つづき）】

【研究支援センターが実際に指摘・確認した内容】

- 研究「目的」ではなく研究「目標」と記載していますが問題ないですか？
- 参考文献に「執筆準備中」とありますが、出版予定を記載できますか？
- 本文に「(1)本研究の学術的背景、研究課題の核心をなす学術的「問い」、(2)本研究の目的および学術的独自性と創造性、(3)本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか、」の小見出しをつけることはできますか？
- 「データベースを作成することが目的」となっていますが、その後の研究について説明することはできますか？
- 研究内容をより具体的にアピールするために、年度ごとの研究計画と研究経費を関連付けて説明できますか？

【1 研究目的、研究方法など（つづき）】

2 本研究の着想に至った経緯など

本欄には、(1)本研究の着想に至った経緯と準備状況、(2)関連する国内外の研究動向と本研究の位置づけ、について1頁以内で記述すること。

【研究支援センターチェックポイント】

- 申請者ならではの着想に至った経緯、オリジナルな理由はありますか？
- 予備的な調査や、今回の課題につながる研究を既に実施しているなど、審査員に十分な準備状況があるとアピールできていますか？
- 関連する国内外の研究動向がこれまでの研究の歴史や解説にとどまっていますか？
- 国内外の研究動向と自身の研究の位置づけを明確に関連付けられていますか？
- 国内外の研究動向のなかで自身の研究テーマの特徴をアピールできていますか？

【研究支援センターが実際に指摘・確認した内容】

- 図がありますが、図1などの表記がないため本文との関連性が分かりません。
- 類似の研究（国内外動向）とその差異（今回の研究）について記載できますか？
- 半ページ余白ができていますが問題ないですか？
- 余白が目立つので本研究に関連する業績リストを記載できますか？

3 応募者の研究遂行能力及び研究環境

本欄には応募者（研究代表者、研究分担者）の研究計画の実行可能性を示すため、(1)これまでの研究活動、(2)研究環境（研究遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等を含む）について2頁以内で記述すること。

「(1)これまでの研究活動」の記述には、研究活動を中断していた期間がある場合にはその説明などを含めてもよい。

※留意事項

1. 研究業績（論文、著書、産業財産権、招待講演等）は、網羅的に記載するのではなく、本研究計画の実行可能性を説明する上で、その根拠となる文献等の主要なものを適宜記載すること。
2. 研究業績の記述に当たっては、当該研究業績を同定するに十分な情報を記載すること。
例として、学術論文の場合は論文名、著者名、掲載誌名、巻号や頁等、発表年（西暦）、著書の場合はその書誌情報、など。
3. 論文は、既に掲載されているもの又は掲載が確定しているものに限って記載すること。
4. 本留意事項（斜体の文書）は、研究計画調書の作成時には削除すること。

【研究支援センターチェックポイント】

- 研究業績が形式的な論文リストになっていませんか？
- 研究計画と関連した論文を掲載し、それが審査員に分かるよう説明していますか？
- 発表論文がどのような点で応募者の研究遂行能力を示すか説明していますか？
- 発表年次が古すぎたり、直近のものばかりで不自然になっていませんか？
- 代表者・分担者ごとに研究業績を記載していますか？
- 研究環境について具体的に記載されていますか？

【研究支援センターが実際に指摘・確認した内容】

- 発表論文の年月が抜けています。
- 「一定の成果を得る」という表現で、研究遂行能力の高さをアピールできますか？
- 研究協力者のリストを記載しているが、今回の研究における役割を説明できますか？

【3 応募者の研究遂行能力及び研究環境（つづき）】

4 人権の保護及び法令等の遵守への対応（公募要領 4 頁参照）

本欄には、本研究を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等（国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む）に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置を、1 頁以内で記述すること。

個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査・行動調査（個人履歴・映像を含む）、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。

該当しない場合には、その旨記述すること。

5 研究計画最終年度前年度応募を行う場合の記述事項（該当者は必ず記述すること（公募要領25頁参照））

本欄には、本研究の研究代表者が行っている、令和3(2021)年度が最終年度に当たる継続研究課題の当初研究計画、その研究によって得られた新たな知見等の研究成果を記述するとともに、当該研究の進展を踏まえ、本研究を前年度応募する理由（研究の展開状況、経費の必要性等）を1頁以内記述すること。
該当しない場合は記述欄を削除することなく、空欄のまま提出すること。

研究種目名	課題番号	研究課題名	研究期間
			平成 年 度～令和 3年度

当初研究計画及び研究成果

前年度応募する理由

[illegible]

設備備品費、消耗品費の必要性

具体的に、設備備品費及び消耗品費の必要性・積算根拠について入力してください。
 なお、いずれかの年度において、「設備備品費」が年度全体90%を超える場合及び
 「消耗品費」で特に大きな割合を占める経費がある場合、必ず必要性について入力してください。

重要な備品や消耗品は、前半の「研究目的、研究方法など」にも必ず記載してください。

重要な経費は、前半の「研究目的、研究方法など」にも必ず記載してください。

研究費の応募・受入等の状況
(1) 応募中の研究費

基盤研究(C)(一般) 1 1 - ()

研究者氏名					
資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究課題名(研究代表者氏名)	役割	令和3年度の研究経費(期間全体の額)	令和3年度エフオー・ト(%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由(科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額)
			(千円)		
			(千円)		
			(千円)		
			(千円)		
			(千円)		

（２）受入予定の研究費

資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究課題名（研究代表者氏名）	役割	令和3年度の研究経費（期間全体の額）	令和3年度エフオー・ト（％）	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由（科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額）
			(千円)		
			(千円)		
			(千円)		
			(千円)		
			(千円)		
（３）その他の活動					
合 計				(％)	